



令和3年度 福島県立いわき支援学校 学校経営・運営ビジョン



< 努力目標 >

- 学校として育成を目指す資質・能力の明確化を図り、学校教育目標や学部目標の妥当性、系統性の検証と考察を行うことで教育課程の編成及び改善を組織的に取り組む。
- 各教科の目標や内容を基に日々の授業実践を通じた単元や題材の評価を行い、単元等の配列や内容について検討し、年間指導計画の改善と活用を努める。

教育目標

児童生徒一人一人の能力・特性に応じ、自立と社会参加を目指して、生きる力を育み、社会の変化に主体的に対応できる人間を育てる

< 児童生徒像 >

- 自ら考え学ぶ人
- 心ゆたかな人
- じょうぶな人

< 学校像 >

- みんなが笑顔であいさつのできる明るい学校
- 将来に夢を持ち、主体的に学ぶことができる学校
- ◎ 家庭や地域住民、社会から信頼される学校
- 地域と共に歩み、地域で育ち、地域から必要とされる学校

< 教職員像 ① >

- 心身ともに健康で、意欲に満ちた教職員
- 共に学び、高め合い、研修に励む教職員
- ◎ 保護者や地域の願い、期待に応える教職員
- ◎ 法令を遵守し、使命感を持って教育に専念する教職員

< 自ら考え学ぶ人 >

知

一人一人の学びの充実を図ります

< 心ゆたかな人 >

徳

豊かな人間性・社会性を育成します

< じょうぶな人 >

体

健康で安全な生活を推進します

- 児童生徒一人一人の「学びの連続性」の確保
 - 自立と社会参加に向けた資質・能力の明確化を図るとともに、学校目標と各学部目標の系統性を検証することで、一人一人の「学びの連続性」に向けた学年間、学部間の学習のつながりを意識した学級経営、学部経営を進めます。
 - 各教科において、発展的、系統的な指導ができるように指導内容を配列し、12年間を見通した年間指導計画の作成を行います。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - 育成を目指す資質・能力が偏りなく実現されるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童生徒の主体的、対話的で深い学びの実践に向けた授業改善を行います。
- 情報活用能力の育成
 - 校内におけるICT機器の活用しやすい環境を整え活用することで、児童生徒の学習意欲や学習活動の充実を図ると共に、教職員による職務全体の効率化を推進します。

- 進路指導の充実
 - 小学部の段階から将来の姿を見据えて、自立と社会参加に向けて必要な力を育てていくとともに、入学してから卒業まで一貫したキャリア教育を推進できるよう学級経営の中で具体的、計画的に取り組めます。
 - 家庭との情報の共有や、地域や福祉、労働等の関係機関と連携を図りながら、望ましい勤労観や職業観を育成し、地域の中で主体的に生きる力を身につけられるようにします。
- 交流及び共同学習の推進
 - 児童生徒の経験を広め、社会性や豊かな人間性を育てるとともに、共に学ぶことでお互いを理解し、相手を尊重する心を育てます。
- 生徒指導の充実
 - いじめやSNSといった児童生徒を取り巻く生活環境や家庭環境を踏まえた指導の充実を図るとともに、校内における相談機能の充実を図ります。

- 健康教育の充実
 - 『性に関する指導』について、児童生徒の発達段階や実態に応じて、組織的、計画的に行います。
 - 『新型コロナウイルス感染症』の予防を含め、生涯にわたって自ら進んで健康の大切さや健康の保持増進に向かう態度、習慣を身につけるようにします。
 - 児童生徒の食に関する健康課題を把握するとともに、学校給食等を中心とした食育の推進を図ります。
- 安全教育や防災教育の充実
 - スクールバスや路線バスの正しい利用について理解を進めるとともに、家庭との連携を通じた安心安全な通学を進めます。
 - 安心安全な学校生活を築くため、危機管理に関するマニュアルの確認と周知を図り、また防災教育について計画的、組織的に取り組みます。

地域や保護者と共によりよい学校をつくります

地域の資源を生かした体験・教育活動の充実

地域の特別支援教育の充実

切れ目のない相談体制の整備と充実

- 地域の講師や学習施設等の活用
 - 地域の方々を講師に招いたり、地域で行っている様々な学習や活動に参加したりしながら、地域における自立と社会参加を推進します。
- 大会や芸術鑑賞会等への参加と生涯学習への意欲づくり
 - スポーツ大会・技能大会、芸術鑑賞会や各コンクール等への参加を通して、様々な学習機会の拡充を図るとともに、生涯学習への意欲を高める機会をつくります。

- 特別支援教育の理解と専門性の向上
 - 特別支援教育セミナーや研修会を実施することで、教員の専門性の向上を図るとともに、地域における研修機会の充実を図ります。
- 特別支援学校のセンター的機能の充実
 - 幼稚園・保育所、小中学校等への出かける支援を通して、地域の特別支援教育における指導支援の課題について把握するとともに、校内体制への支援を図ります。
- 広報活動の充実
 - 作品展への参加や作業製品販売会の実施、ホームページ、学校紹介ビデオの作成や広報紙等の工夫をすることで、地域における特別支援学校への理解啓蒙を図ります。

- 相談支援の充実と関係機関との連携
 - 就学前の幼児や保護者への支援を行うことを通じて、早期からの豊かな発達を促すとともに、就学指導の充実を図ります。
 - 家庭との指導、支援に係る共通理解を深めるとともに、保健、医療、福祉、教育、労働等関係機関との連携・協力を通じた相談支援体制の構築を図ります。